

## 平成20年度研修内容

- 場 所 北海道立農業大学校
- 時 期 平成21年2月24日(火)～25日(水)1泊2日
- 参加者 14名
- 研修内容

### ～講演～

#### 「これからの農業・農村の活力」



講師  
畜産試験場技術普及部  
次長 原 仁 氏

- ・農村人口減少の課題
- ・発展している地域。農業に付加価値を付けている町。60才以上が働く場所のある町。
- ・所得向上に向けた新たな取り組み。
- ・大きな目標と小さな目標をもつ
- ・インターネットの利用。農業・農村のPR

### ～講演～

#### 「女性農業者の役割」



講師  
北海道指導農業士  
(北見市常呂)  
那須 美由紀 氏

- ・農業に関心をもった理由。幼稚園の先生時に園児から農業を学ぶ
- ・農業以外から嫁いだ女性達の会の活動
- ・牛やの母ちゃん会の活動、楽しくやる酪農の活動事例
- ・都会の高校生のホームステイから学ぶ事
- ・仲間や行政の支援を大切に目標を実現

### ～体験事例報告1～



報告者  
標茶町  
岩本 博美 氏

- ・女性農業後継者で結婚されている先輩より地域の概要、酪農経営の概要、家族構成と役割、就農・結婚までの経過などについて報告
- ・H13にUターン就農。家族と共に経営参画
- ・家族経営協定は家族の絆。経営がやり易い
- ・家族の輪、人との出会いを大切に！

### ～体験事例報告2～



報告者  
剣淵町  
江口 由紀子 氏

- ・平凡な生活をしていたが、信念を持つようになったら婿さんがきた。信念は大事
- ・嫁さんネットワーク。本音で語る会がある。教えられることが多い。仲間は財産
- ・就農して農業の良さ実感
- ・食を支える仕事に誇りを持って！

### ～講演～

#### 「女性の知恵とパワーを活かす法人経営」



講師  
道立中央農業試験場  
技術普及部長  
内山 誠一 氏

- ・組織のあり方について
- ・労働の配置とパート労働者への指示方法
- ・農家の女性が持つ財産状況
- ・農村を活性化している活動事例
- ・起業家の事業条件
- ・個人経営から法人経営への移行事例紹介

### ～講演～

#### 「地域を支える農業と担い手と女性」



講師  
北海道農業担い手  
センター長  
青山 俊夫

- ・担い手センターの業務内容
- ・本研修会を企画した理由
- ・農業従事者の状況・農業後継者の実態
- ・農業財産相続の問題
- ・農業の中で女性の感性による活動事例(付加価値事例、消費者の目、生活者の目、直売活動など)女性能力の発揮